



静岡県教育委員会  
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成30年(2018年)  
9月5日  
水曜日  
第203号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 「交流籍」本格実施へ!

——「交流及び共同学習」のさらなる充実を目指して——

特別支援学校に通う子どもたちは、地域の学区を離れて特別支援学校に通うため、地域との関わりが薄くなる傾向にあります。そこで、地域の小中学校において共に学ぶ機会を設ける居住地校交流をより円滑に進めるため、モデル地区(沼津市、藤枝市)の試行を基に、平成31年度から「交流籍」を全市町で導入します。

### 「交流籍」とは?

県立特別支援学校の小中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域の小中学校に置く「副次的な籍」を静岡県では「交流籍」と呼びます。

交流籍により、子どもたちは自分の住んでいる地域の友達と一緒に勉強したり活動したりすることができます。



### 交流籍を活用した「交流及び共同学習」の目的

障害の有無に関わらず共に支え合い育つこと、共生社会の実現とその担い手の育成を図ることを目的に実施します。

#### ○特別支援学校の児童生徒にとって

地域との関係を深め、「地域の一員」として安全な環境で自立できる力をつけ、充実した生活を送ることができるようにします。

#### ○小中学校の児童生徒にとって

障害のある人に対する偏見や差別のない「心のユニバーサルデザイン」を実現するため、お互いを認め合いやる心を持つことができるようにします。

### 先行実施したモデル地区の声

#### 〈保護者の方から〉

- 好きなことを活動に取り入れることで、皆と一緒に楽しんで交流できた。
- 地域で声を掛けてもらえ、とても嬉しかった。
- 地域での活動に参加しやすくなった。

#### 〈小学校の教員から〉

- 児童が、特別支援学校の児童のことを考えて活動内容を工夫したり、温かく接したりすることができた。
- 同じ地域に住む仲間という意識を持ったり、会うことを楽しみにしたりする児童が見られた。
- 交流を通して、教師や児童の特別支援教育に対する理解が深まった。

「交流籍」を活用した「交流及び共同学習」を地道に重ねていくことで、共生社会の基盤を各地域でより盤石なものにし、「人を排除する社会」から「人を包み込む社会づくり」を進めていきたいと考えています。皆さまのご支援、ご協力をお願いします。

【特別支援教育課】

## 平成30年度「ハートフルサポート充実事業」がスタートしました!

### 「ハートフルサポート充実事業」とは?

いじめの認知件数や不登校者数が増加傾向にある小中学校では、教職員だけでは解決できない複雑な課題を数多く抱え、これまで以上に心理や福祉の専門的な視点を取り入れた支援の必要性が高まっています。

そこで、県教育委員会では、児童生徒が安全・安心な学校生活を送るための支援体制の構築・充実を目指し、「スクールカウンセラー等活用事業」及び「スクールソーシャルワーカー活用事業」のさらなる拡充を図っていきます。これらの事業の総称が「ハートフルサポート充実事業」です。

※スクールカウンセラーについては全小中学校及び義務教育学校、スクールソーシャルワーカーについては全市町に配置しています。



### ポイント1

スクールカウンセラー(SC)  
モデル地区(4中学校区)への常時配置

沼津市立金岡中学校区

清水町立清水中学校区

焼津市立大富中学校区

御前崎市立浜岡中学校区

「中学校区」に年間約1,000時間SCが勤務  
(例)A中:400時間、B小:320時間、C小:280時間

例えば、こんなことが可能に…

・SCが週に4~5日、中学校区内のいずれかの学校に勤務しているため、緊急支援が必要になった際、迅速な対応ができる。

・児童生徒や保護者との面談以外にも、SCを使った研修会の開催等各学校の実態に応じて、さまざまな取り組みを企画することができる。

常時配置による成果と課題を検証し、次年度以降の施策につなげていく予定です。

### ポイント2

スクールソーシャルワーカー(SSW)  
各市町への配置時数の拡充

全33市町(政令市除く)へSSWを配置してから、今年度で3年目となりました。配置時数の拡充に伴い、各学校における支援(相談)件数も年々増加しています。SSWへのニーズは今後も高まり続けることが予想されるため、可能な限り、各市町への配置時数の拡充を進めていきます。

### SCとSSWの違いは何?

**SC**は、面接や心理療法によって、相談者の抱えている心の問題を改善・解決していく**心理の専門家**です。相談室等での**1対1の直接支援**を主たる援助とし、教職員から紹介されたり、自ら支援を希望したりする児童生徒や保護者に対応します。

**SSW**は、児童生徒に影響を及ぼしている学校・家庭・地域環境の改善に向けて、学校・家庭・地域の支援ネットワークを構築する**福祉の専門家**です。**教職員との協働による間接支援**を主たる援助とし、必要があれば、当事者が要請しない場合であっても、教職員と協働して関わっていきます。

SSWの勤務形態は各市町教育委員会の方針によって異なるため、定期的に各学校を訪問するとは限りません。SSWの支援を必要とする学校は、市町教育委員会へお問い合わせください。

【義務教育課】



# 実践NOTE 403

## 話したい・聴きたいと思える 外国語活動を目指して 「単元を貫く言語活動」

菊川市立加茂小学校 教諭 服部 晃範

本校では29年度から外国語活動に力を入れてきました。30年度以降も、英語教材のUNIT 6&7を一つの単元として捉え、「単元を貫く言語活動」として、グリーティングカード作りを位置付けて日々実践を積み重ねています。



読み聞かせをする筆者

### 単元を貫く言語活動

外国語活動の授業において大事にしていることは、単元計画です。行き当たりばつりの授業や、ひたすらゲームやアクティビティをやり続けるのではなく、単元全体を通して、いかに目標に近づけられるかを考えています。特に、単元の核となるコミュニケーション活動(単元を貫く言語活動)を位置付けるようにしています。ここでは、4・5年生を対象に行った実践を2つ紹介します。

### UNIT 6&7 グリーティングカード を作ろう



グリーティングカードの材料集め

まず、子どもたちは誰にどんなメッセージを贈りたいかを考えます。友達、お母さん、お父さん、昨年度の担任など、相手はさま

ざま。伝えたい内容によって、「THANK YOU」や「HAPPY BIRTHDAY」などのフレーズも変わってきます。ここに子どもたちの想いがあるかどうかが大事です。伝えたいという想いがあれば、子どもたちは自然とこれまで習った表現を駆使しながらやりとりをし始めます。



作ったグリーティングカード

完成したグリーティングカードからも、相手のことを思っていることやアルファベットを集めたことが伝わってきます。

### UNIT 9 オリジナル 絵本を作って動物クイズ を出し合おう

「Let's Try!」の「you want?」のやりとりについて十分慣れ親しみの活動を行いました。その後、UNIT 6&7で習ったことを使って、グリーティングカード作りへと進みます。



絵本の交流をする子どもたち

「Let's Try!」のUNIT 9「きみはだれ?」の導入では、補助教材「the Autumn Forest」を使い、子どもたちとやりとりをしながら絵本の読み聞かせをしました。子どもたちは、何の動物が隠れているのかクイズに答えるように考えながら聞き、次第に物語の世界に引き込まれていきました。その後、「オリジナル絵本を作って動物クイズを出し合おう」と子どもたちに提案します。これを「単元を貫く言語活動」としました。

絵本の中では、同じ表現が何度も出てくるので、読み聞かせを聞く中で、子どもたちは自然と表現に慣れ親しんでいきます。その後、カードを使ったゲームもしながら、絵本に出てくるフレーズにさらに慣れ親しみました。そして、いよいよ絵本作りに。ここでは、既習の動物に限らず、できるだけ子どもたちが登場させたい動物も認めます。子どもたちが本当に伝えたい情報を、英語でやりとりすることで、意欲の向上だけでなく、技能や思考力の向上にもつながると考えています。

「そのためにはどんな言語活動を位置付けられるのか」を考えると、単元全体で授業をやることを意識し、日々実践していきたいです。

# 実践NOTE 404

## どうする? 学校保健では... 「キャリア教育の視点から」

浜松市立笠井中学校 養護教諭 小野田 珠実

本校は、平成27・28年度に浜松市教育研究校の指定を受け、キャリア教育を視点にした授業改善を進めてきました。そして、育成すべき「基礎的・汎用的能力」を構成する4つの能力を「かかわる力」「見つける力」「挑戦する力」「つなげる力」の4つの力として押さえました。



保健授業指導する筆者

### 学校保健においても、 授業だけでなく、全ての 待ち遠しい「心の日」に

心の健康づくりのために、浜松市東区の小中学校では、平成22年度から月1回「心の日」を設定しています。本校では、教員主導の講話やワーク(演習)が多く、マンネリ化しつづいてきました。そこで、計画から評価まで、4つの力

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることが、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。	自分が「できること」「やりたいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。	仕事をする上で様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。	「働くこと」の意義を理解し、自分が果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

を意識した活動へと見直しを図りました。異学年交流による自己紹介パーティーや、全校バースデーイン作り等、生徒主体で企画運営する「心の日」も実施できるようになっています。



心の日「全校自己紹介パーティー」

### 元気ですか? リレー

朝の健康観察で「みんな元気がない」「欠席が続く子が心配」「心が通う健康観察を考えた」という生徒の声を聞きました。そこで、自他の健康意識を高めながら、生徒と共通の力を意識した活動を考えました。教室の列ごとに「元気ですか?」と声を掛けながら、相手の腕にリボンを結んでいく健康観察リレー。心を元気にし、「かかわる力」の育成につながると好評でした。



元気ですか?健康観察リレー

### 家族すくすく会議

本校区では、学校保健委員会後に、会の内容を家族と共有し、コミュニケーションを図ろうと、4つの力を意識した「家族すくすく会議」を設定しています。平成29年度は、自己決定をテーマに「自分は何かをするべきか?」「家族は、どんなサポートをするのか?」「今の自分はどうな色?」についてワークシートに記入して家族会議に臨みました。「家族のコメントがうれしかった」「やるべきことがはっきりした」と、生徒は感想を記していました。

### さらなる挑戦!

本校が、取り組んだキャリア教育を視点にした授業改善により、主体的な学びの姿が見られるようになってきました。しかし、個人々の現れを見ると、個人差が大きいことが分かります。そこで、昨年度より学校適応尺度「アセス」を活用しての生徒理解やピアサポート活動(生徒同士の支援)も取り組んでいます。

子どもたちが、将来をたくましく生き抜くためにも、より多くの大人が、子どもたちに上手に関わっていただくことが大切です。今後も養護教諭としての立場から、子どもたちと教職員、保護者、地域の方々との上手な関わりを、学校保健の面からコーディネートし、サポートしていきたいと思えます。

### メンテナンスタイプ

皆さんは普段、ストレスを自覚していますか? 忙しっていると、大きなストレスがあっても知らず知らず無理をし続けてしまうことがあります。体の健康診断を定期的に行うように、こころも健康チェックを行うことが必要です。

ストレスマネジメントの第一歩は、自分のストレスに気付くこと。気付くための方法の一つがストレスチェック制度です。労働安全衛生法により事業主に実施が義務付けられているストレスチェック制度は、働く人が自分のストレス状態を確かめ、心の不調を未然に防ぐこと、健康で働きやすい職場作りに役立ててもらおうことを目的に始まりました。

心身共に健康で働くために、年に一度は、ストレスの自己点検を行いましょ。

### ストレスチェックでわかること



心身のストレス反応

ストレスによって、心身にどういった反応が、どのくらい起きているか

### 仕事のストレス要因

時間内に仕事が処理しきれない、自分のペースで仕事ができない等、仕事でどのくらいストレスを感じているか

### 周囲のサポート

上司や同僚、家族にどのくらいサポートをしてもらっているか

### 【福利課】



# 「子どもたちの能力をさらに伸ばすためのきっかけづくり」 未来を切り拓くDream授業を開催しました

「論語」には、「十五にして学に志す」という言葉があります。15歳と言えば、日本では中学生の年齢です。多くの可能性を秘め、さまざまなことに興味を持ち、中には世界で活躍したいという大きな夢を描いている子どもたちがいます。

静岡県では、このような中学1・2年生を募り、将来さまざまな分野において、日本や世界で活躍したいと考えている子どもたちの能力をさらに伸ばす「きっかけづくり」とするために、2泊3日の「未来を切り拓くDream授業」を開催しました。その授業の様子を紹介します。

## 各界を代表する講師陣による講義

さまざまな分野のスペシャリスト6名から貴重なお話を聞くことができました。子どもたちからは、「興味深い講義ばかりだった」「心に残る言葉がたくさんあった」という感想がありました。



## 外国人留学生・ALTとの交流

ふじのくに留学生親善大使やALTから世界各国の学校の様子を聞くことができました。時間があっという間に過ぎ「留学生やALTと英語で話したい」という声がありました。



## 授業の概要

- 日 程 7月30日(月)から8月1日(水)まで
- 会 場 静岡県総合教育センターほか
- 応募者数 分野を問わず将来日本や世界で活躍したいと考えている県内の中学1・2年生 78名
- 受講者数 応募者から抽選で選ばれた 29名
- 内 容
  - ・各界を代表する講師陣による講義(50音順)  
池上 重弘(静岡文化芸術大学副学長)  
市川 大祐(清水エスパルス普及部コーチ)  
加藤 暁子(日本の次世代リーダー養成塾専務理事、事務局長)  
加藤百合子(株式会社エムスクエアラボ代表取締役)  
木苗 直秀(静岡県教育委員会教育長)  
宮城 聡(公益財団法人静岡県舞台芸術センター芸術総監督)
  - ・外国人留学生・ALTとの交流
  - ・舞台俳優による表現指導等
  - ・同世代の仲間とのディスカッション、発表
  - ・振り返り

## 舞台俳優による表現指導等

SPACの舞台俳優の方々にお越しいただき、宮城監督と共に演劇の基礎となる動きを教えてくださいました。子どもたちは、実際に練習に取り組み、俳優の動きが簡単なものではないと実感していました。



## 振り返り

最後に3日間を振り返って一人一人が授業を通じて得たこと、今後の抱負などを発表しました。切磋琢磨する仲間を得て、夢への近づき方を学んだ子どもたちの将来が楽しみです。



## 同世代の仲間とのディスカッション、発表

「理想の学校をつくる」というテーマでグループ討議を行いました。個性豊かな子どもたちが参加しているため、意見が対立する場面もありましたが、子どもたちは徐々に相手の思いを理解し、新しいアイデアを出すようになりました。最終日、保護者の方々が参観する中、5つの素敵な学校の発表が行われました。教科書をなくし実技重視の学校、農作物を売り商売する学校など、大人では発想できない、さまざまな学校の提案がありました。



他人の意見を取り入れて、もっと素晴らしいものを作っていくことが大事だと分かった。



将来、自分が先生になって、みんなの理想の学校を実現したい。



## 受講後のアンケート結果より

- ・将来の夢を実現するためのヒントが見つかった。
- ・夢に対する明確な像を自分の中で描くことができた。
- ・夢を持った仲間と出会い、高め合うことができた。

【文化観光部 総合教育課】

コンプライアンス  
だより vol.14

## 6秒待って! ～アンガーマネジメントのすすめ～

### パワハラ・体罰・威圧的な指導はダメ!

怒りは自然な感情であり、怒ることは悪いことではありません。しかし、必要以上に怒ったり、怒りの感情を無理に抑えようと、人間関係や仕事でトラブルになったり、心身の健康にダメージを与えることもあります。そこで、「アンガーマネジメント」という心理トレーニング法を紹介します。怒りの感情(アンガー)と上手につき合う(マネジメント)することにより、怒りから生まれる悪循環を防ぎ、良好な人間関係を築くことができます。

#### STEP① 6秒間待つ

感情のピークは最初の6秒です。大きく深呼吸したり、頭の中で6まで数えたり、まず6秒間待つことで、怒りのピークをやり過ごすことができます。



#### STEP② 自分を怒らせた正体を知る

ある人が又はある出来事が、自分を怒らせたと考えがちですが、その正体は、「べき」という言葉です。児童生徒はこうあるべき、仕事はこうやるべきなど、自分が信じている「べき」が裏切られたときに人は怒りを感じます。自分の「べき」を知ることで、怒る前に自分の怒りを察知できるようになります。

#### STEP③ “べき”の境界線を広げる



どういう「べき」を信じるかは人それぞれですが、その境界線により怒る回数は増減します。自分と同じ「べき」(OKゾーン)と自分と違う「べき」(NGゾーン)の他に、少し違うが許してもいい中間(許容ゾーン)を作り、「べき」の境界線を広げることで、怒らなければいけないことが減ります。

〈参考:パワー・ハラスメント防止ハンドブック(人事院)〉

【教育総務課】

地域連携  
だより

## 地域の課題を高校生が主体的に考え、未来志向で行動する“場” 島田商業高校 島田フューチャーセンター

島田商業高校では、まちづくりの拠点「島田フューチャーセンター」を生徒が主体となって運営しています。ここでは生徒と地域の幅広い世代や立場の方が一緒に地域課題の解決策を考え、地域のためにできることを模索しています。

- ・大井川鐵道の利用者増と、島田市への観光客を増やすには?
- ・島田の逸品を島田市以外の人に、もっと知ってもらうには?
- ・日本の伝統を広げるフェスでどんな企画があるか?
- ・島田の商店街に人が来るには?
- ・小学生のプログラミングの天才を作るには?



### 地域の大人と本気で話す。 だから本気で気付くし、つながれる。

仕掛け人 鈴木 滋 教諭にお話を伺いました

Q: 始めたきっかけは?

文化部の生徒にもっとコミュニケーション能力を身に付けさせることがきっかけでした。また、市民が行うまちづくりに、なぜ市民である学生が出ていけないのか、もっと商業科の生徒としてまちに入っていった方がいいのではないかと思い実施しました。

Q: 期待される効果は?

地域の大人たちとつながる場で、利害関係のない高校生がファシリテーターを務め、地域のために何ができるかを地域の人と考え自分事にしていくことで、前向きに人前に出ていけるリーダー的な存在になってほしいと考えています。そして本当はいいものを持っている生徒を、もっと前に出して活躍する人材を育てていきたいです。

詳しい取り組みを、ぜひホームページでチェックしてみてください。

島田商業高校 島田フューチャーセンター で 検索

【教育政策課】





# 子どもが地域の一人になる! 静岡県生涯学習推進フォーラム

未来を担う子どもを育てるために必要なことは何でしょうか?  
 今、「社会総がかり」で子どもたちを育てることが求められています。  
 地域・学校・行政・企業等の連携により、充実したネットワークが形成されます。  
 『未来を担う子どもたちのために』  
 当事者である大人一人一人が、真剣に考えてみませんか。  
 一人一人の「できる」を持ちよれば、可能性は広がります。

子どもの笑顔を見続けたい  
 地域と子どもたちを盛り上げたい  
 そんなあなたへ



**日時** 10月19日(金)  
 13時~16時30分  
 (12時30分受付開始)

**場所** グランシップ 11階  
 会議ホール・風  
 (JR東静岡駅下車徒歩3分)

パネリスト 生重幸恵氏  
 S.A.Net理事長  
 文部科学省第9期中央教育審議会委員  
 内閣府地域活性化伝道師  
 全国各地で学校支援と地域活性化推進に貢献

コーディネーター 島田桂吾氏  
 静岡大学教育学部 講師  
 専門は教育行政、生涯学習  
 県教育界の  
 未来を牽引する若きホープ

パネリスト 平野邦孝氏  
 袋井市教育委員会学校教育課長  
 元静岡市立向陽中学校長  
 磐田地区の小中一貫  
 コミュニティスクールの仕掛人

問・申 総合教育センター 生涯学習企画課 生涯学習推進班  
 ☎0537(24)9715 Eメール kouza@manabi.pref.shizuoka.jp



二次元コードから  
 講座情報掲載HPへ

「地域と学校の連携・協働の在り方」について  
 パネルディスカッションを実施します!!

## 「有徳の人づくり」への取り組み ~「人づくり推進員」のご活用を!~

県では、地域や家庭、学校などでの人づくりや子育ての手助けをするために、知事から委嘱を受けた99人の「人づくり推進員」を県内各地に派遣し、「人づくり地域懇談会」を行っています。平成12年度からこれまでに幼稚園、小中学校、公民館を中心に4,500回以上開催してきました。

「人づくり地域懇談会」では、人づくりや子育てに関するアドバイスをしたり、県が進めている「人づくり」について説明したりしています。「人づくり推進員」の講演分野は、家庭教育、しつけ、子育て支援、食育、読み聞かせ、地域活動、地域コミュニティ、社会教育、自然体験、スポーツ活動などさまざまです。

学校においては、家庭教育学級や新入生入学説明会などでも講師として活用いただいています。

### ○懇談会のテーマ例

- ・「心をつなぐコミュニケーション」
- ・「地域ぐるみで子どもを育てよう」
- ・「子育てで大事な思いやりとユーモア」など

懇談会参加者からは、「地域住民の一人として人づくりに協力し、自身も実践していきたいと思う」、「しつけとは、自分自身が実践し、見本を見せることだと思う」などの感想が寄せられています。

人づくり推進員の講演会等は「無料」で行っていますので、学校や地域でぜひご活用ください。

講演会等に、人づくり推進員の派遣を希望する場合は、下記までご連絡ください。



人づくり地域懇談会の様子

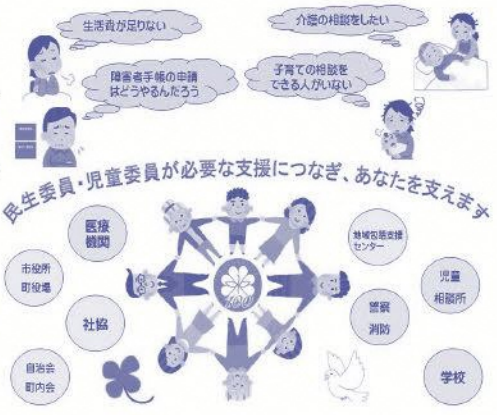
問 文化・観光部総合教育課 ☎054(221)3304 ☎054(221)2905  
 Eメール sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp  
 HP http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/

## 困ったら、民生委員・児童委員へ! ~小さな悩みも地域の「つなぎ役」へ~

民生委員は、地域住民に対する個別の相談や見守り活動などの地域福祉活動を行っています。生活上の困りごとについて、身近な存在の民生委員が相談に応じ、相談内容によって、それぞれに合った専門機関の紹介を行います。

また、民生委員は児童委員も兼ねており、例えば、母子・父子家庭の相談、子どもの貧困に関すること、児童虐待に関する相談にも応じ、専門機関へつなぎます。

学校で児童生徒の様子がおかしいと感じたとき、地域での児童生徒の様子について確認したいときには民生委員・児童委員と情報交換してはいかがでしょうか。相談したいと思っている方の中には、個人の話伝えることに不安を抱く方もいるかもしれませんが、民生委員・児童委員は特別職の地方公務員で守秘義務があるので、秘密は固く守られます。安心して相談してみてください。



### ◇民生委員・児童委員制度に関して◇

問 健康福祉部地域福祉課 ☎054(221)3525

## 学び続ける教員へ ~参加者募集中~

※申込方法は、下記  
 問い合わせ先まで要連絡

### 「秋の夜長の宿泊体験」参加者募集!

富士山麓の大自然の中で宿泊や創作活動等を体験し、学校の課外活動(宿泊研修や部活動合宿など)での利用について検証しましょう。ご家族での参加も大歓迎です。

- 募集期間 平成30年9月3日(月)~10月5日(金)
- 実施日 平成30年10月13(土)~10月14日(日)
- 会場 静岡県立富士山麓山の村
- 定員 先着20組
- 費用 2,500円/人
- 問い合わせ先 静岡県立富士山麓山の村 ☎0545(36)2236

### ふじのくにブックレクチャー

静岡出身の小説家瀬名秀明氏を講師にお招きし、「静岡の青い空から広がった私の小説と科学~『パラサイト・イヴ』から『この青い空で君をつつもう』まで」というテーマでお話しいたします。

- 募集期間 平成30年8月初旬から。定員になり次第受付終了。
- 実施日 平成30年10月7日(日)
- 会場 静岡県立大学大講堂
- 定員 600人
- 費用 無料
- 問い合わせ先 静岡県立中央図書館企画振興課 ☎054(262)1246

### 記事訂正のお知らせ (202号3面)

「外国語教育のさらなる充実に向けて」小中高の連携強化の「記事内容に誤りがありました。次のとおり訂正します。」  
 正 飯田小学校 平成30年12月10日(月)  
 誤 宮園小学校 平成30年12月10日(月)  
 (※飯田小学校はH31に実施予定)  
 (※宮園小学校はH31に実施予定)

**大好評! 物流の職場体験セミナー**

物流業界の「今」と「コレカラ」が分かる1日体験セミナーに参加しよう!

**昼食支給 図書カードプレゼント 参加無料**

主催 **静岡県トラック協会**

**参加高校生募集 (中学生も可)**

申込み締切  
開催日の3週間前まで

申込方法  
参加資格/高校生(中学生も可) □定員/各回20名程度  
応募方法/①電話054-289-7555 (受付:平日のみ9時~17時) →参加希望の開催日と「本人情報」をお伝えください。  
 ②E-mail: shizuokashigoto@sbscom.jp →参加希望の開催日と「本人情報」を入力メールしてください。  
 [本人情報=氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(携帯電話番号も必須)、学校名・学年]  
参加案内/応募多数の場合は抽選となります。  
 当選通知及び「参加案内」は開催日の10日前までに郵送させていただきます。

お問合せ **株式会社SBSコミュニケーションズ TEL.054-289-7555**  
 (受付:平日のみ9時~17時)  
 後援/静岡労働局、中部運輸局静岡運輸支局、静岡県

訪問会社	開催日時(時間は予定)	見学・体験内容(訪問企業により見学・体験内容は異なります。詳細は参加案内にてお伝えします)
徳三運輸倉庫(株) 静岡市清水区興津中町873-1	9/29 9:00~16:00	①物流センター見学・体験 ③フォークリフト体験 ②トラックドライバーとの座談会 ④大型トラック試乗 ※停車時
(株)七栄 裾野市金沢145-2	10/6 9:00~16:00	①物流センター見学・体験 ③大型トラック試乗 ※停車時 ②大型スーパー配送センター見学 ④フォークリフト体験
大五運送(株) 浜松市西区坪井町4493-2	10/20 9:00~16:00	①物流センター見学・体験 ③適性診断機器の体験 ②点呼管理システムの説明 ④大型トラック試乗 ※停車時
浜松運送(株) 浜松市東区下石田町1053	11/10 9:00~16:00	①物流センター見学・体験 ③浜松トラックステーションで昼食 ②ピッカーリフト体験 ※停車時 ④大型トラック試乗 ※連結見学あり

【個人情報取り扱いについて】お申込みの際に預かりした個人情報は、当イベントの受付及び参加案内の発送にのみ使用します。※「物流の職場体験セミナー」は「静岡県トラック協会」主催事業です。(株)SBSコミュニケーションズは本事業を受託し企画運営しています。